



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本精工株式会社

コード番号 6471 URL <http://www.jp.nsk.com/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 大塚 紀男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役財務本部副本部長 (氏名) 榎本 俊彦

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

配当支払開始予定日

TEL 03-3779-7111

平成26年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	464,390	12.3	40,746	41.7	40,927	45.4	25,890	75.5
26年3月期第2四半期	413,603	12.0	28,752	56.1	28,140	66.0	14,749	24.4

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 42,623百万円 (30.3%) 26年3月期第2四半期 32,711百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	47.88	47.82
26年3月期第2四半期	27.31	27.28

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第2四半期	1,056,436		411,490		36.8	
26年3月期	1,000,932		382,155		35.9	

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 388,787百万円 26年3月期 359,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
27年3月期	—	12.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	950,000	9.0	86,000	26.4	84,500	26.5	57,000	82.9	105.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	551,268,104 株	26年3月期	551,268,104 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	10,381,292 株	26年3月期	10,901,237 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	540,694,942 株	26年3月期2Q	540,017,297 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(ご参考)

連結経営成績 第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日～平成26年9月30日）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	235,083	12.7	20,350	27.8	20,517	40.7	11,799	121.4
26年3月期第2四半期	208,593	16.3	15,929	153.4	14,586	157.3	5,329	9.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 28,293百万円(181.3%) 26年3月期第2四半期 10,058百万円(356.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	21.82	21.79
26年3月期第2四半期	9.87	9.86

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 四半期連結貸借対照表関係に関する注記	12
(6) セグメント情報等	14
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
4. 補足情報	15
平成27年3月期 第2四半期決算短信 補足説明資料	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、平成28年の創立100周年における売上高1兆円を目指し、平成25年4月より3年間の中期経営計画に取り組んでおります。事業戦略としては「収益重視の成長」、経営基盤の強化に向けては「1兆円の物量を回す管理能力の構築」を推進しております。

当第2四半期連結累計期間の世界経済を概観すると、日本では、景気の緩やかな回復が続きましたが、消費税増税後の反動減からの持ち直しに鈍さもみられました。米国経済は回復基調が続き、欧州では景気の持ち直し傾向が続きました。アジアでは、インドで景気の持ち直しの動きがみられたものの、アセアンは総じて景気が足踏み状態となり、中国は景気拡大のテンポが鈍化しました。

このような経済環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,643億90百万円と前年同期に比べて12.3%の増収となりました。営業利益は、407億46百万円(前年同期比+41.7%)となり、経常利益は409億27百万円(前年同期比+45.4%)となりました。税金費用、少数株主利益を控除した結果、四半期純利益は258億90百万円と前年同期に比べて75.5%の増益となりました。

当社グループのセグメントごとの市場環境と業績は次のとおりであります。

(1) 産業機械事業

産業機械関連需要は、世界全体で緩やかな回復傾向が続いています。地域別にみると、日本では、スマートフォン関連設備需要の好調が続き、産業機械軸受や精密機器関連製品の売上高が増加しました。米州では、一般機械向けやアフターマーケット向けを中心に増収となりました。欧州では、風力発電向けや工作機械向けなどの売上高が増加し、アフターマーケット向けも増収となりました。中国では、鉄道車両向けや風力発電向け需要が景気刺激策も寄与して好調が続き、工作機械向けや精密機器関連製品も堅調に推移し売上高が増加しました。アセアンでは市場の停滞が続きましたが、自動車補修向けや情報機器関連向けを中心に産業機械軸受の売上高が増加しました。

この結果、産業機械事業の売上高は1,325億38百万円(前年同期比+14.3%)、営業利益は145億4百万円(前年同期比+49.3%)となりました。

(2) 自動車事業

自動車市場は、中国での需要の伸びに鈍化がみられますが、グローバルでは緩やかな成長が継続しております。地域別にみると、日本では、消費税増税後の反動減の影響は軽微なもの、自動車メーカーによる海外現地調達に対応した当社生産の海外移転の影響により売上高が減少しました。米州は、北米市場が好調に推移し、日本からの生産移転による効果もあり増収となりました。欧州では、西欧を中心に自動車市場の持ち直し基調が継続し、為替の効果もあり増収となりました。中国では、電動パワーステアリングが新規受注効果も寄与して大幅な増収となり、欧州系・日系向けを中心に自動車軸受の売上高が増加しました。その他アジアでは、各国の市場にはばらつきがありましたが、日系・韓国系向けに売上高が増加しました。

この結果、自動車事業の売上高は3,117億58百万円(前年同期比+9.9%)、営業利益は282億21百万円(前年同期比+31.7%)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債)

資産合計は1兆564億36百万円となり、前連結会計年度末に比べて555億3百万円増加しました。主な増加は受取手形及び売掛金52億87百万円、有価証券310億54百万円、製品77億30百万円、有形固定資産80億90百万円であり、主な減少は退職給付に係る資産60億8百万円によるものであります。

負債合計は6,449億45百万円となり、前連結会計年度末に比べて261億69百万円増加しました。主な増加は支払手形及び買掛金81億19百万円、社債400億円であり、主な減少は未払法人税等61億59百万円によるものであります。

(純資産)

純資産合計は4,114億90百万円となり、前連結会計年度末に比べて293億34百万円増加しました。主な増加は四半期純利益258億90百万円、為替換算調整勘定109億34百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は2,002億6百万円となり、前連結会計年度末に比べて312億66百万円の増加となりました。また、前年同期末に比べて488億90百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、前年同期に比べて88億85百万円減少し、183億58百万円の収入となりました。主な収入の内訳は、税金等調整前四半期純利益379億1百万円、減価償却費184億68百万円であり、一方で主な支出の内訳は、独占禁止法関連損失の支払額188億78百万円、法人税等の支払額166億82百万円であります。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、前年同期に比べて15億48百万円増加し、200億57百万円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出183億13百万円であります。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、前年同期に比べて314億83百万円減少し、314億69百万円の収入となりました。主な収入の内訳は、社債の発行による収入400億円であり、一方で主な支出の内訳は、配当金の支払額48億62百万円、少数株主への配当金の支払額22億44百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年7月29日に公表いたしました平成27年3月期連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)につきまして、当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、業績予想を修正いたします。

連結業績予想数値の修正

〔通期〕	今回予想	前回予想	増減額	増減率
売上高	9,500億円	9,260億円	240億円	2.6%
営業利益	860億円	830億円	30億円	3.6%
経常利益	845億円	805億円	40億円	5.0%
当期純利益	570億円	565億円	5億円	0.9%

平成26年10月1日から平成27年3月31日までの期間における想定為替レートは、1米ドル105円、1ユーロ135円を使用しております。

前述の業績予想は、資料の作成時点における経済環境や事業方針など一定の前提に基づいて作成しております。従って実際の業績は、様々な要因によりこれらの予想とは異なる可能性があります。

なお、連結業績予想につきましては、本日(平成26年10月29日)別途「業績予想の修正に関するお知らせ」においても開示しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の算定方法）

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（1）退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の基礎となる期間の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付支払ごとの支払見込期間を反映する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の利益剰余金が4,872百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

（2）企業結合に関する会計基準等の早期適用

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）、及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等が平成26年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等（ただし、連結会計基準第39項に掲げられた定めを除く。）を適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,319	68,813
受取手形及び売掛金	165,808	171,096
有価証券	100,181	131,236
製品	71,431	79,161
仕掛品	40,683	43,075
原材料及び貯蔵品	19,620	21,923
その他	56,071	56,005
貸倒引当金	△1,502	△1,700
流動資産合計	520,614	569,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	79,994	82,675
機械装置及び運搬具（純額）	151,146	158,523
その他（純額）	73,029	71,060
有形固定資産合計	304,169	312,260
無形固定資産	12,278	11,836
投資その他の資産		
投資有価証券	103,932	108,647
退職給付に係る資産	47,740	41,731
その他	12,705	12,723
貸倒引当金	△507	△373
投資その他の資産合計	163,869	162,729
固定資産合計	480,317	486,825
資産合計	1,000,932	1,056,436

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	130,745	138,865
短期借入金	95,666	98,483
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
未払法人税等	12,028	5,868
その他	78,005	62,700
流動負債合計	331,445	320,918
固定負債		
社債	20,000	60,000
長期借入金	184,866	183,174
役員退職慰労引当金	1,567	1,531
環境対策引当金	178	178
退職給付に係る負債	36,438	35,686
その他	44,280	43,456
固定負債合計	287,330	324,027
負債合計	618,776	644,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	67,176	67,176
資本剰余金	78,560	78,793
利益剰余金	210,739	225,262
自己株式	△4,369	△4,181
株主資本合計	352,107	367,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,387	34,990
為替換算調整勘定	△14,067	△3,132
退職給付に係る調整累計額	△10,225	△10,120
その他の包括利益累計額合計	7,094	21,737
新株予約権	328	231
少数株主持分	22,626	22,471
純資産合計	382,155	411,490
負債純資産合計	1,000,932	1,056,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	413,603	464,390
売上原価	327,667	360,544
売上総利益	85,936	103,846
販売費及び一般管理費	57,183	63,099
営業利益	28,752	40,746
営業外収益		
受取利息	314	423
受取配当金	763	935
持分法による投資利益	1,767	2,265
その他	1,080	1,072
営業外収益合計	3,925	4,697
営業外費用		
支払利息	2,367	2,444
その他	2,169	2,072
営業外費用合計	4,537	4,516
経常利益	28,140	40,927
特別利益		
投資有価証券売却益	2,425	—
固定資産売却益	933	—
特別利益合計	3,358	—
特別損失		
独占禁止法関連損失	6,749	3,025
特別損失合計	6,749	3,025
税金等調整前四半期純利益	24,750	37,901
法人税等	8,708	10,679
少数株主損益調整前四半期純利益	16,041	27,222
少数株主利益	1,291	1,331
四半期純利益	14,749	25,890

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,041	27,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,080	3,576
為替換算調整勘定	7,266	11,658
退職給付に係る調整額	—	115
持分法適用会社に対する持分相当額	322	50
その他の包括利益合計	16,670	15,401
四半期包括利益	32,711	42,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,240	40,534
少数株主に係る四半期包括利益	1,470	2,089

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	24,750	37,901
減価償却費	17,290	18,468
のれん償却額	199	57
貸倒引当金の増減額(△は減少)	215	30
退職給付引当金及び前払年金費用の増減額	△2,303	—
退職給付に係る負債及び退職給付に係る資産の増減額	—	△2,327
受取利息及び受取配当金	△1,077	△1,359
支払利息	2,367	2,444
持分法による投資損益(△は益)	△1,767	△2,265
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,425	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△933	—
独占禁止法関連損失	6,749	3,025
売上債権の増減額(△は増加)	△7,098	△1,774
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,492	△8,885
仕入債務の増減額(△は減少)	8,830	6,374
その他	2,112	△92
小計	36,417	51,596
利息及び配当金の受取額	2,848	4,716
利息の支払額	△2,419	△2,393
独占禁止法関連損失の支払額	△6,005	△18,878
法人税等の支払額	△3,596	△16,682
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,244	18,358
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△712	△117
有価証券の取得による支出	△200	△100
有価証券の売却による収入	901	266
有形固定資産の取得による支出	△21,730	△18,313
有形固定資産の売却による収入	1,641	294
投資有価証券の取得による支出	△36	△24
投資有価証券の売却による収入	2,885	119
貸付けによる支出	△42	△660
貸付金の回収による収入	62	73
その他	△1,276	△1,595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,508	△20,057

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△222	△1,997
長期借入れによる収入	4,544	6,088
長期借入金の返済による支出	△699	△5,665
社債の発行による収入	—	40,000
自己株式の取得による支出	△15	△20
配当金の支払額	△2,698	△4,862
少数株主への配当金の支払額	△853	△2,244
その他	△68	172
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13	31,469
現金及び現金同等物に係る換算差額	917	1,494
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,639	31,266
現金及び現金同等物の期首残高	141,653	168,940
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	22	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	151,316	200,206

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 四半期連結貸借対照表関係に関する注記

(1) 訴訟事項等

① 関係当局による立入検査について

(前連結会計年度)

軸受製品の取引に関して、当社の韓国における製造・販売子会社は、平成24年7月に、独占規制及び公正取引に関する法律(公正取引法)違反の疑いがあるとして、韓国公正取引委員会による立入検査を受けました。

また、当社の子会社である株式会社天辻鋼球製作所の本社及び関係営業所は、平成26年1月に、同社製品の取引に関して独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会による立入検査を受けました。

上記のほか、当社及び当社の子会社は、その製品の取引に関して各国の関係当局による調査等を受けております。

当社及び当社グループといたしましては、関係当局による調査等に全面的に協力しております。

これらの結果として、今後、課徴金等による損失が発生する可能性があります。現時点ではその金額を合理的に見積ることは困難であり、当社の経営成績等に与える影響は明らかではありません。

(当第2四半期連結会計期間)

軸受製品の取引に関して、当社の韓国における製造・販売子会社は、平成24年7月に、独占規制及び公正取引に関する法律(公正取引法)違反の疑いがあるとして、韓国公正取引委員会による立入検査を受けました。

また、上記のほか、当社及び当社の子会社は、その製品の取引に関して各国の関係当局による調査等を受けております。

当社及び当社グループといたしましては、関係当局による調査等に全面的に協力しております。

これらの結果として、今後、課徴金等による損失が発生する可能性があります。現時点ではその金額を合理的に見積ることは困難であり、当社の経営成績等に与える影響は明らかではありません。

なお、平成26年9月に公正取引委員会より、独占禁止法に違反する行為があったとして、鋼球製品の製造事業者に対して排除措置命令及び課徴金納付命令がなされた旨の発表がありました。この中で、当社の子会社である株式会社天辻鋼球製作所について独占禁止法に違反する行為があったとする旨の言及がありましたが、同社は、同委員会に対して課徴金減免制度の適用を申請し、これが認められたこと等から、上記命令のいずれも受けておりません。

② 集団訴訟等の提起について

(前連結会計年度)

米国において、原告である軸受製品の購入者等の代表者等から、当社及び当社の米国子会社を含む被告らに対して複数の集団訴訟等が提起されております。原告は、被告らが共謀して、米国において、軸受製品の取引に関する競争を制限した等と主張し、被告らに対して、損害賠償、対象行為の差止め等を請求しております。また、カナダにおいても、当社及び当社のカナダ子会社を含む被告らに対して、上記訴訟と同種の集団訴訟が複数提起されております。

当社並びに当社の米国及びカナダの子会社といたしましては、原告による請求に対して、正当

性を主張して争っていく所存です。なお、訴状には、請求金額の記載はありませんが、当該訴訟の結果として、当社の経営成績等へ影響を及ぼす可能性があります。

また、当社又は当社の子会社若しくは関係会社は、上記訴訟と同種又は類似の訴訟等を今後提起される可能性があります。

(当第2四半期連結会計期間)

米国及びカナダにおいて、原告である軸受製品等の購入者等の代表者等から、当社並びに当社の米国及びカナダの子会社を含む被告らに対して複数の集団訴訟等が提起されております。原告は、被告らが共謀して、これらの国において軸受製品等の取引に関する競争を制限した等と主張し、被告らに対して損害賠償、対象行為の差止め等を請求しております。

当社並びに当社の米国及びカナダの子会社といたしましては、原告による請求に対して、正当性を主張して争っていく所存ですが、当該訴訟の結果として、当社の経営成績等へ影響を及ぼす可能性があります。

また、当社又は当社の子会社若しくは関係会社は、上記訴訟と同種又は類似の訴訟等を今後提起される可能性があります。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業機械	自動車	計				
売上高							
外部顧客への売上高	115,922	283,788	399,710	13,893	413,603	—	413,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	13,381	13,381	△13,381	—
計	115,922	283,788	399,710	27,275	426,985	△13,381	413,603
セグメント利益（営業利益）	9,714	21,435	31,149	1,400	32,549	△3,797	28,752

当第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業機械	自動車	計				
売上高							
外部顧客への売上高	132,538	311,758	444,296	20,093	464,390	—	464,390
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	14,726	14,726	△14,726	—
計	132,538	311,758	444,296	34,820	479,116	△14,726	464,390
セグメント利益（営業利益）	14,504	28,221	42,726	2,154	44,880	△4,133	40,746

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

平成27年3月期 第2四半期決算短信 補足説明資料

1. 決算概要(連結)

(単位:百万円)	平成26年3月期			平成27年3月期					
	前半	後半	通期	前半	対前年同期比	後半予想	対前年同期比	通期予想	対前期比
売上高	413,603	458,139	871,742	464,390	112.3%	485,610	106.0%	950,000	109.0%
営業利益	28,752	39,297	68,049	40,746	141.7%	45,254	115.2%	86,000	126.4%
経常利益	28,140	38,645	66,785	40,927	145.4%	43,573	112.8%	84,500	126.5%
税金等調整前当期純利益	24,750	29,591	54,341	37,901	153.1%	43,599	147.3%	81,500	150.0%
当期純利益	14,749	16,418	31,167	25,890	175.5%	31,110	189.5%	57,000	182.9%
1株当たり当期純利益(円)	27.31	30.39	57.70	47.88	—	—	—	—	—

(単位:百万円)	平成26年3月期				平成27年3月期							
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	対前年同期比	2Q	対前年同期比	3Q	対前年同期比	4Q	対前年同期比
売上高	205,010	208,593	224,154	233,985	229,307	111.9%	235,083	112.7%				
営業利益	12,822	15,929	15,961	23,337	20,395	159.1%	20,350	127.8%				
経常利益	13,553	14,586	16,782	21,864	20,409	150.6%	20,517	140.7%				
税金等調整前四半期純利益	14,063	10,686	6,782	22,810	20,409	145.1%	17,491	163.7%				
四半期純利益	9,420	5,329	1,054	15,364	14,091	149.6%	11,799	221.4%				
1株当たり四半期純利益(円)	17.45	9.87	1.95	28.43	26.07	—	21.82	—				
連結子会社数(社)	93	93	93	93	93	—	93	—				
日本	21	21	21	21	21	—	21	—				
海外	72	72	72	72	72	—	72	—				
期末従業員数(人)	29,417	30,189	30,283	30,454	30,837	—	31,131	—				
日本	11,481	11,416	11,297	11,223	11,277	—	11,185	—				
海外	17,936	18,773	18,986	19,231	19,560	—	19,946	—				

2. セグメント売上高

(単位:百万円)	平成26年3月期			平成27年3月期					
	前半	後半	通期	前半	対前年同期比	後半予想	対前年同期比	通期予想	対前期比
報告セグメント									
産業機械事業	115,922	127,047	242,969	132,538	114.3%	139,462	109.8%	272,000	111.9%
自動車事業	283,788	306,757	590,545	311,758	109.9%	325,242	106.0%	637,000	107.9%
計	399,710	433,805	833,515	444,296	111.2%	464,704	107.1%	909,000	109.1%
その他	27,275	37,417	64,692	34,820	127.7%	33,180	88.7%	68,000	105.1%
調整額(消去)	△ 13,381	△ 13,084	△ 26,465	△ 14,726	—	△ 12,274	—	△ 27,000	—
合計	413,603	458,139	871,742	464,390	112.3%	485,610	106.0%	950,000	109.0%

(単位:百万円)	平成26年3月期				平成27年3月期							
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	対前年同期比	2Q	対前年同期比	3Q	対前年同期比	4Q	対前年同期比
報告セグメント												
産業機械事業	57,023	58,899	62,003	65,044	65,738	115.3%	66,799	113.4%				
自動車事業	141,123	142,664	148,667	158,091	154,554	109.5%	157,204	110.2%				
計	198,146	201,564	210,670	223,135	220,292	111.2%	224,004	111.1%				
その他	13,523	13,752	19,600	17,817	15,664	115.8%	19,155	139.3%				
調整額(消去)	△ 6,659	△ 6,722	△ 6,116	△ 6,968	△ 6,650	—	△ 8,076	—				
合計	205,010	208,593	224,154	233,985	229,307	111.9%	235,083	112.7%				

3. セグメント利益(営業利益)

(単位:百万円)	平成26年3月期			平成27年3月期					
	前半	後半	通期	前半	対前年同期比	後半予想	対前年同期比	通期予想	対前期比
報告セグメント									
産業機械事業	9,714	13,998	23,712	14,504	149.3%	16,996	121.4%	31,500	132.8%
自動車事業	21,435	27,766	49,201	28,221	131.7%	30,279	109.1%	58,500	118.9%
計	31,149	41,765	72,914	42,726	137.2%	47,274	113.2%	90,000	123.4%
その他	1,400	1,500	2,900	2,154	153.9%	1,846	123.1%	4,000	137.9%
調整額(消去)	△ 3,797	△ 3,968	△ 7,765	△ 4,133	—	△ 3,867	—	△ 8,000	—
合計	28,752	39,297	68,049	40,746	141.7%	45,254	115.2%	86,000	126.4%

(単位:百万円)	平成26年3月期				平成27年3月期							
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	対前年同期比	2Q	対前年同期比	3Q	対前年同期比	4Q	対前年同期比
報告セグメント												
産業機械事業	3,878	5,836	5,789	8,209	7,502	193.5%	7,001	120.0%				
自動車事業	10,262	11,172	12,089	15,678	13,855	135.0%	14,365	128.6%				
計	14,140	17,009	17,879	23,886	21,357	151.0%	21,367	125.6%				
その他	582	817	△ 27	1,528	1,058	181.8%	1,095	134.0%				
調整額(消去)	△ 1,900	△ 1,896	△ 1,890	△ 2,079	△ 2,021	—	△ 2,112	—				
合計	12,822	15,929	15,961	23,337	20,395	159.1%	20,350	127.8%				

4. 設備投資、減価償却費

(単位:百万円)	平成26年3月期			平成27年3月期					
	前半	後半	通期	前半	対前年同期比	後半予想	対前年同期比	通期予想	対前期比
設備投資	19,014	26,434	45,448	17,625	92.7%	31,375	118.7%	49,000	107.8%
減価償却費	17,290	17,796	35,086	18,468	106.8%	19,032	106.9%	37,500	106.9%

(単位:百万円)	平成26年3月期				平成27年3月期							
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	対前年同期比	2Q	対前年同期比	3Q	対前年同期比	4Q	対前年同期比
設備投資	7,508	11,505	10,976	15,459	7,335	97.7%	10,289	89.4%				
減価償却費	8,804	8,485	8,679	9,118	9,088	103.2%	9,379	110.5%				

5. 研究開発費

(単位:百万円)	平成26年3月期			平成27年3月期					
	前半	後半	通期	前半	対前年同期比	後半予想	対前年同期比	通期予想	対前期比
研究開発費	4,978	4,941	9,919	5,371	107.9%	5,129	103.8%	10,500	105.9%

(単位:百万円)	平成26年3月期				平成27年3月期							
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	対前年同期比	2Q	対前年同期比	3Q	対前年同期比	4Q	対前年同期比
研究開発費	2,376	2,601	2,387	2,555	2,515	105.9%	2,856	109.8%				

6. 為替換算レート

(単位:円)	平成26年3月期			平成27年3月期		
	前半	後半	通期	前半	後半想定	通期想定
US\$	98.85	101.63	100.24	103.04	105.00	104.02
ユーロ	130.00	138.74	134.37	138.92	135.00	136.96

(単位:円)	平成26年3月期				平成27年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
US\$	98.76	98.94	100.47	102.79	102.16	103.92		
ユーロ	128.95	131.05	136.69	140.79	140.07	137.77		

(単位:円)	平成26年3月期		平成27年3月期	
	前半	後半	前半	後半想定
US\$	97.75	102.92	109.45	105.00
ユーロ	131.87	141.65	138.87	135.00

(単位:円)	平成26年3月期				平成27年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
US\$	98.59	97.75	105.39	102.92	101.36	109.45		
ユーロ	128.53	131.87	145.05	141.65	138.31	138.87		

以上